

平成 28 年度橋本市教育委員会第 5 回 E S D 連続セミナー概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

- ◇開催日時 平成 29 年 1 月 20 日（金）18 時～21 時
- ◇会場 橋本市教育文化会館
- ◇参加者 大谷（城山小）、深・南・上田・堂本・坂本（三石小）、木村（紀見小）
辻脇・辻本（橋本市教委）、中澤（奈良教育大） 10 名
- ◇内容 次期学習指導要領と ESD、ESD 学習指導案の検討

1. 次期学習指導要領と E S D

(1) 次期学習指導要領のポイント 1：社会に開かれた教育課程

各教科の知識の内容だけでなく、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかを視野に教育課程を考えるべき

(2) 次期学習指導要領のポイント 2：資質能力の三つの柱

①知識・技能「何を知っているか、何ができるか」

基礎的基本的な知識・技能だけでなく、それらを組み合わせた汎用性のある知識・技能（見方・考え方）の習得

②思考力・判断力・表現力等「知っていること・できることをどう使うか」

協働的問題解決のために必要な思考力・判断力・表現力等
必要な情報の収集・選択・分析に必要な判断・意志決定
伝える相手や状況に応じた表現力

③主体的に学習に取り組む態度

学びに向かう力や自己の感情や行動を統制する能力（メタ認知）
多様性を尊重する態度、協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップ

(3) E S D と評価の 3 観点との対応

- ・知識・技能：ESD の視点
- ・思考・判断・表現：ESD で育てたい能力
- ・主体的に学習に取り組む態度：ESD の行動力・自律性・協働性・リーダーシップ

(4) ESD の視点

	対 象	要素について	作用について	傾向について
実態概念	自然環境・社会環境	多様性	相互性	循環性
規範概念	人や集団の行動や意思決定	公平性	連携性	責任性

(5) ESD で育てたい能力

- ・クリティカル・シンキング（批判的思考力・代替案の思考力）
- ・システムズ・シンキング（多面的・総合的思考力）
- ・コミュニケーション力
- ・データや情報を分析し、未来を考える力（長期的思考力）
- ・協働的行動力（ESD の目的は行動の変革であるので、新しく加えた）

2. ESD 学習指導案の検討

(1) 「防災マスターになろう」(6年総合) 橋本市立三石小学校 堂本恭平氏

- ①評価規準が知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点であるので、目標も3つにする。
- ②「単元について」に「指導観」(指導上の工夫)を加筆する。
- ③防災教育においては、事前(そなえる)、事中(逃げる)、事後(避難所生活)の3つの場面がある。これまでの避難訓練は、事中に特化した取組だった。これからの防災教育は事前・事後における「自分に何ができるか」を考えさせるのが中心になる。
- ④学習の展開が「身の回り(学校)」を導入とし、地震のメカニズム・地震の疑似体験、避難所生活、地域防災マップ作成へと無理なく展開できている。
- ⑤簡単にできる防災グッズづくり体験を加え、単元の最終段階で、防災マップと防災グッズを地域の人に紹介し、地震災害に強い町づくりをうったえると、行動化にもつながる。
- ⑥東日本大震災の避難所生活では、避難者名簿の作成と展示、トイレ用の水の運搬、高齢者の話し相手などで児童生徒が活躍した。

(2) 「わたしたちの県～地域の特色を生かした伝統工業」(4年社会) 橋本市立城山小学校 大谷氏

- ①評価規準が知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点であるので、目標も3つにする。
- ②橋本市の伝統産業である「へら竿」を取り上げているのは、地域教材の開発として評価できる。
- ③ESDの観点を「ESDで育てたい能力」の側面から記述しているが、このような書き方もわかりやすくよい。ESDの観点として、ESDの視点、ESDの能力、ESDの価値観のどれを書くべきか、検討したい。
- ④伝統産業はその地域の気候、地形、歴史、交通と深い関連がある。「へら竿」に関しても、この4つの側面から考えさせる。地域の産業を4つの側面から考えるという「考え方」が汎用性のある「知識・技能」である。

(3) 「もっと知りたいな町のこと」(2年生活) 橋本市立紀見小学校 木村祥子氏

- ①学校のすぐそばにあり、児童にとって「あたりまえの存在」になっている杉村公園を教材化し、3つのコースからの探検を通して、杉村公園の多様性に気づかせており、クリティカルシンキングを養う学習にもなっている。
- ②一年を通しての五感を使った探検を行うことで、ESDの実態概念である多様性の他に、相互性(季節と動植物の変化)、循環性(季節、昆虫等の一生)などにも気づかせることができる。
- ③単元展開の概要の記述のしかた
左列：主な学習活動
右列：○学習への支援 ◇評価
とし、現行の右列の記述を左列に移し、教師の学習への支援を新たに書き加え、現行の・を評価とする。
- ④長い単元なので、教室の後ろに杉村公園の白地図を掲示しておき、発見するたびにイラスト等を貼っていく。地図がだんだん出来上がっていくのが、児童のモチベーションにもなる。

(4) 「つくって あそぼう」(2年生活) 橋本市立三石小学校 深 泰憲氏

- ①評価規準が知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点であるので、目標も3つにするか、生活科の評価規準にあわせる。
- ②「だ、である」調に統一する。
- ③評価規準の知識・技能についてだが、この単元で児童に一番気づかせたいことは、普段何気なく捨てているモノが、実は再利用できるということであり、そのことを通じてごみの減量につなげることである。「すぐに捨てるのではなく、再利用の仕方を考えようとする」としてはどうだろうか。
- ④クラスで発表するだけでなく、他学年や地域の方々に対して発表してはどうだろうか。

(5) 「むかしあそびをしよう」(1年生活) 橋本市立三石小学校 上田真由美氏

- ①評価規準が知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点であるので、目標も3つにするか、生活科の評価規準にあわせる。
- ②どの学校の生活科でも実践されている単元をESDでとらえ直しているところに、この学習指導案の価値がある。ESDは何か新しいものをしなければならないというよりも、既存の学習をESDの視点からとらえ直し、新たな価値づけをするという方向性が評価できる。
- ③むかしあそびと今の子どもの遊びの違いは、「人とのかかわり」であろう。人と関わらないとできない、人と関わることで面白さが増す、といったむかしあそび体験をさせてほしい。
- ④「人と関わることのよさ」を感じさせるのが、この単元における汎用性のある知識・技能である。また、地域の高齢者や未就学児との関わりもあるので、「相手に応じた聞き方・話し方」もこの単元で獲得させたい知識・技能であろう。
- ⑤地域の高齢者に教わる場面で「面白さ」を感じさせることが、この単元のポイントになる。この時間を十分に取ってほしい。また、「お礼の手紙」は子どもの記憶が新しいうちに書いた方がいい。

(6) 「三石の町の魅力を考えよう」(5年総合) 橋本市立三石小学校 南氏

- ①三石台は新興住宅地であるので、ただ歩くだけでは「良さ」を見いだすのは難しいのではないかと、という質問が大谷氏からあった。この質問は新興住宅地にある学校すべてに通じる重要な問いかけである。多くの学校で困難に感じているポイントであると言い換えることもできる。本指導案では、町の様子を「みつめる」時間とゲストティーチャーを招へいして「しらべる」時間が設定されている。町の様子は自然環境や社会環境といったモノであるので、ESDの視点の実態概念を「町を見るときポイント」として児童に提示する。またゲストティーチャーの良さにおいては、規範概念をポイントとして提示することで(またそれに合う人を招へいする)、児童のESDの視点(見方・考え方)を養うことになる。もちろん、児童にわかる言葉にすること。
- ②ESDの視点から町のよさを見いだす学習を通して、「ESDの町 三石台」といった、未来志向の町の魅力や特色を児童に感じさせること、誇りを持たせることにつながる。

(7) 「命とくらしをささえる水」(3年社会・総合) 橋本市立三石小学校 阪本 大樹氏

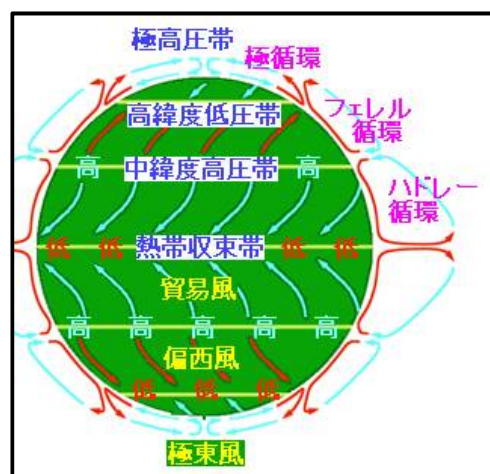
- ①評価規準が知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点であるので、

目標も3つにする。

②使える水の量を直径1メートルの地球をモデルに見せることは、児童の関心を高め、理解を助ける手立てとして評価できる。

③日本は降水量が多く、水が自由に使えるので、世界の水不足と自分たちの水の使い方がつながらないのではないかという指摘が南氏からあった。世界の水不足は深刻であり、それを取り上げた本指導案は秀逸である一方、この指摘は、「世界の水不足」を取り上げた学習における児童の行動化の難しさを言い表しており、この課題をクリアした実践事例はまだ見たことがない。

世界の水不足の要因としては、鉱工業における水質汚濁や上流に位置する国によるダム建設といった地域限定の要因もあるが、広くは「温暖化」問題であり「熱帯雨林の破壊」が原因であると指摘されている。海水温の上昇により、①赤道付近では強い上昇気流が生じ、多雨となる。②乾燥した空気が、中緯度付近で下降流となり、つまり高気圧となるため、乾燥が広がる（砂漠化）。③地表に達した気流が今度は上昇気流に変わり、つまり低気圧となり雨を降らす。④乾燥した空気が極付近で下降気流となり、乾燥をもたらす。といった地球規模の大気の大循環が「世界の水不足」に大きく関わっている。



大気循環（出典：Wikipedia）

そして温暖化の原因はCO₂濃度の上昇であるから、エネルギーの大量使用や、大量生産・大量消費・大量廃棄といったライフスタイルにもその原因が求められる。つまり、世界の水不足の学習を通じた行動化は水を大切に使うことよりもむしろ、大量生産・大量消費・大量廃棄といったライフスタイルの見直しに向かうべきであろう。もちろん、水道水をつくるのにもエネルギーが使用されているので、水の無駄遣いを止めることも、温暖化防止につながると言える。

